

●このテキストの使い方と特色

このテキストは、自分の頭で考え、それを表現する力をやしなうのに役立つものです。

このテキストを上手に使って、たしかな学力を身につけてください。

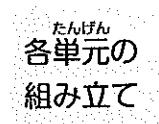


はじめに



問題の答え方トレーニングで、答え方のきほんを学びましょう。

国語の問題の答えを書くときにおぼえておかなければならないルールをまとめています。Book3に入る前に、かくにんしておきましょう。



各単元の組み立て

それぞれの単元は、とという二つの部分からなりたっています。



読んで考え方

文章を読んで、じっくり考えながら答えをまとめてゆく学習をします。

●「ことば」

文章の中に出てくることばの中で、意味を調べたり、注意したりしておきたいことばを、まとめてあります。



ことばについて学ぼう

●「学習のよう点」

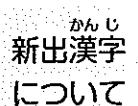
その単元で学習するポイントを、わかりやすく説明しています。よく読んで、しっかりと身についてください。

●「問題でかくにんしてみましょう」

「学習のよう点」にそった問題があつめられています。習ったことを、問題をとくことでかくにんしてみましょう。

●「一歩先へ」

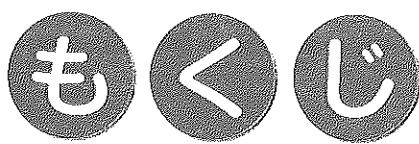
授業でりかいした地点から一歩ふみこんだ学習ができるよう、そのあとどの学習の方向付けがしてあります。



2ページごとの新出漢字がまとめてあります。

新出漢字のまとめのページでは、これまでに出てきた漢字をふく習できます。

国語 Book ③



◆問題の考え方トレーニング		『問題の考え方トレーニング』																			
1	物語(1)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
2	説明的文章(1)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
3	物語(2)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
4	説明的文章(2)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
5	物語(3)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
6	説明的文章(3)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
7	物語(4)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
8	説明的文章(4)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
9	詩(1)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
10	物語(5)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
11	説明的文章(5)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
12	物語(6)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
13	説明的文章(6)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
14	物語(7)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
15	説明的文章(7)	10	8	4	40	38	36	34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
◆新出漢字のまとめ②		72	70	68	66	64	62	60	58	56	54	52	50	48	46	44	42	40	38	36	34
同じ読み方をする漢字		72	70	68	66	64	62	60	58	56	54	52	50	48	46	44	42	40	38	36	34
漢字の組み立て		72	70	68	66	64	62	60	58	56	54	52	50	48	46	44	42	40	38	36	34

16 物語(8)	74
17 説明的文章(8)	76
18 物語(9)	80
19 説明的文章(9)	82
20 物語(10)	84
◆新出漢字のまとめ④	86
21 説明的文章(10)	88
22 物語(11)	90
23 説明的文章(11)	92
◆新出漢字のまとめ⑤	94
24 詩(2)	96
25 物語(12)	98
26 説明的文章(12)	100
27 物語(13)	102
28 説明的文章(13)	104
29 物語(14)	106
30 説明的文章(14)	108
◆新出漢字のまとめ⑥	110
漢字の配当表	112
反対の意味を持つ漢字	114



問題をとくときは、答えを考えるだけではなく、考えた答えの書き方も大切です。これは、答えの書き方のトレーニングをしましょ。

問い合わせに合った考え方をしよう

答えがわかつたら、書きこむ前に、もういちど、問題文を見直してみましょ。答え方が、問題で問われていることと合っているか、からなはずたしかめるようにしましょう。

【れい】

か。

【答え】「きがえ。」「顔をあらう」と。など。

【かいせつ】

「何ですか」と聞かれたら、ものごとの名前や「くじ」と「くもの」のような形で答えましょ。



次の①・②の問い合わせに対する正しい答え方を、それぞれあとから一つずつえらび、記号に○をつけましょ。

□① きのうの宿題は、何でしたか。

ア いいえ、やつていません。

イ かん字の練習。
れんじゅう

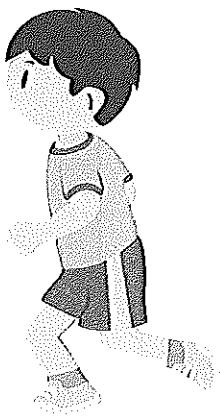
ウ たくさんの中題が出ました。

□② 外から帰ってきたとき、うがいや手あらいをするのはどうするためですか。

ア かぜをひかないようにするため。

イ ばいきんを落とすこと。

ウ びょうきになりたくないから。



走るのがとくい

問題①の答え



① イ ② ア

- ① (れい)だから。(だからです。)
② (れい)わくわくした気持ち。

標準問題

次の文章を読んで、あとの①・②の問い合わせに合った答えを書きましょう。

書きましょう。

ゆうたくんは、走るのがとくいです。ですから、うんどう会のときは、いつもわくわくした気持ちでいます。

□① ゆうたくんが、いつもうんどう会でわくわくした気持ちでいるのはなぜですか。

〈ヒント〉

ここでは、ゆうたくんが、いつもうんどう会のときに、わくわくした気持ちでいるのは「なぜ」のかが聞かれて、ますから、答えは、ゆうたくんがいつもうんどう会を楽しみにする「理由」を答える形の文を作りましょう。

□②

走るのがとくいなゆうたくんは、うんどう会のどき、どんな気持ちでいますか。

ここでは、「どんな気持ち」のかを聞かれていますから、「う気持ち」という形で答えましょう。

〈ヒント〉

問われ方によつて、答え方が変わつてくることもあるので注意しましょう。

ノ書いた答えを見直そつ



答えを書いたら、もういちど、自分の答えを見直してみましょう。意味がわかりにくかったり、ことばのつながりがおかしかったりしないか、きちんとたしかめましょう。

【れい】

〔問〕 「来週の日曜日は何をしますか。」

【よくない答え①】 「かぞくでどうぶつ園に行きました。」

〔かいせつ〕

答えの前に、「来週の日曜日」ということばをつけてみると、この答えのことばのつながり方がおかしいことに気づくでしょう。この問い合わせに対する正しい答え方は、「かぞくでどうぶつ園に行きます。」になります。今のことを問われているのか、前のことを問われているのか、これからのことを見されているのか、ちゅういして答えを書きましょう。

【よくない答え②】 「やきゅうがします。」

〔かいせつ〕

「やきゅうがします。」は、ひとつのことばとしてなりたっていません。この場合、「やきゅうをします。」と書くのが正しい答えです。答えを書いたら、「が・は・の・を」などのことばが正しくつかわれているか、よくたしかめてみましょう。

次の①～③は、問い合わせに対する答え方におかしなど一ころがあります。――線部を正しく直して答えましょう。



次の①～③は、問い合わせに対する答え方におかしなど一ころがあります。――線部を正しく直して答えましょう。



〔問〕 「あなたはきのうの夕方どこにいましたか。」

〔答〕 「きのうの夕方は、こうえんにいます。」

〔問〕 「おとうさんは、今何をしてていますか。」

〔答〕 「おとうさんは、おふろがはいつています。」

〔問〕 「明日の天気をおしえてください。」

〔答〕 「明日は、雨がふっています。」



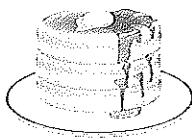
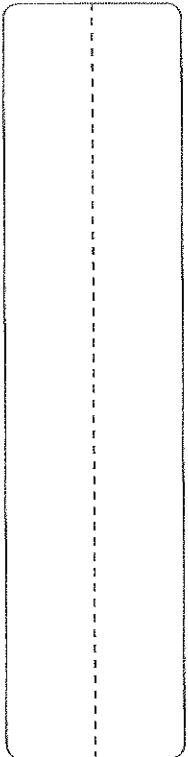
次の文章を読んで、あとの①・②の問い合わせに答えましょう。



ぼくは、きのう、おかあさんとホットケーキを作りました。こなに、たまごとぎゅうにゅうを入れて、ぼくは、それをいつしょうけんめいしました。やくのはいつもおかあさんのじごことです。少しかたかったです。けれど、とってもおいしかったです。

□① 「ぼく」は、きのうおかあさんと何をしましたか。

〈ヒント〉
ここでは、「ぼく」が、きのうおかあさんと「何」をしたのかと問われていますから、「ぼく」が、どんなことをしたのか、考えて答えを書きましょう。



□②

——線部は、ことばのつながりがおかしくなって
います。正しく書き直しましょう。

〈ヒント〉

「それをまざる」は、正しくは「それがまざる」、または「それをませる」という言い方になります。ここでは、「ぼく」がしたことであるということにちゅういしましょう。

① ② の答え



① (れい) いました

② (れい) おふろにはいっています

③ (れい) ふるでしょう

た。

① (れい) ホットケーキを作ること。

② (れい) ぼくは、それをいつしょうけんめいませまし

1

物語(1)
たかしくんは友だちだい

今関信子

学習日
月 / 日

。どうじょう人物の気持ちを読みとりましょう。

読んで考えよう

● つぐおとたかしは、もけい作りに熱中してます。

【線路】と線路の間にジョイントをはさみこむなり、つぐおはとび上がつて言いました。

「やつたぜ、見ろよ、見てみろよ。ついにかんせいだ。」

「よせ、あばれるな。デゴイチ走る前にこわれたら、どうする。」

もんくをつけたはずのたかしの声もゴムまりみたいにはずんでいます。

二人の目の前には、たつた今作り上がったもけいの鉄道が広がっています。(中略) 今、ここをデゴイチが走るのです。きのう買つてもらつたばかりのまっ黒くててらてら光つているデゴイチが。ジャチヤ、ジャチヤ、ピストンの音をたてながら、いさましくはしっていくのです。

「がんばったねえ、ぼくら。こんなのは初めてだな。」たかしが、あつい息をはきながら言いました。

「ほんと、ほんとだよ。」

つぐおは、体じゅうでうなづきました。①二人の体の中

□ 1 【】の部分からは、つぐおとたかしのどんな気持ちがわかりますか。

□ 2 ①の気持ちは、【】の部分の二人のどんなようすからわかりますか。

□ 3 線①「二人の体の中に、うとてもいい気持ちです」とあります。二人がこのような気持ちになつたのはなぜですか。

15

10

5

• 息	• 物語	• 學習	• 気持	• 線路	• 鉄道
いき	かんじ	しゅう	も	せんろ	てつどう
く			ち	ロ	
むけ	かんじ	じゅう	も	せん	どう
かんじ	かんじ	じゅう	ち	ル	道

に、ほわつとあたたかいものがわいてきました。おふろからあがつたばかりみたいなどてもいい気持ちです。(中略)

そのとき、戸がいきおいよく開いて、

「おそくなつて、ごめん、ごめん。いまはんにするからね。」

かあさんがとびこんできました。かけまわつた犬みたいに、半分口を開けっぱなしにして、ふはふはいきをしながら。

「まあ。」

(2) かあさんは、すくんだように立ち止まりました。げんかんにつつ立つたままで、みるみる顔色をかえました。

(中略)

「つぐおちゃん。」

とんがつた目を二人に向けて、かあさんはどなりました。こめかみがぴるとふるえて、います。

「かたしなさい。こんなにちらかして。たかしちゃん、あんたはお帰り。もう六時半よ。どこのうちもお夕はんですよ。」

• はずむ

• すぐむ

• みるみる

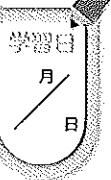
④ 線② 「かあさんは、うみるみる顔色をかえました」とあります。

□ (1) このとき、かあさんはどんなことに気づいたのですか。

□ (2) (1)のこと気にづいて、かあさんはどんな気持ちになりましたか。

□ (3) (2)の気持ちになつたことは、このあとのかあさんのどんなようすからわかりますか。

「とあど」とば



次の①と②の文章を読んでみましょう。

①「わたしは、駅前の自てん車おき場で、友だちに会いました。駅前の自てん車おき場へ行きました。そこ

②「わたしは、駅前の自てん車おき場へ行きまし

た。そこで、友だちに会いました。」

①の文章では、一^二言った事がら（「駅前の自てん車おき場」）をくりかえして言っているために、文章が長くなり、くどくなっています。これにたいして、②の文章では、「そこ」が使われていることで、文章が読みやすくなっています。

「そこ」のように、事がらをさしめすはたらきをすることばは、「ここ」「それ」「あちら」「どっち」など、「こ・そ・あ・ど」ではじめります。そこで、事がらをさしめすことばは「こそあどことば」とよばれます。

問題でかくにんしてみましょう。

- 〔1〕 「「とあど」とば」は、場合によつて使い分けられます。次の(1)～(6)の説明にあてはまる」とばを、あとから、(1)～(4)は二つずつ、(5)・(6)は四つずつ、それぞれさがして書きましょう。（同じものを二^三書いてもかまいません）

〔1〕 話し手に近い事がらをさしめす場合に使うことば。

〔2〕 話にすでに出てきた事がらや、聞き手に近い事がらをさしめす場合に使うことば。

〔3〕 話し手・聞き手の両方から遠い事がらをさしめす場合に使うことば。

〔4〕 さしめす事がらがはつきり決まらない場合に使うことば。

（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

(5) ものをさししめす場合に使うことば。

(6) 場しょをさししめす場合に使うことば。



これ どこ そこ あれ
それ ここ どれ あそこ

(2) 次のそれぞれの——線部は、何を指していますか。
書いて答えましょう。

(1) 自てん車で公園へ行き、そこでお昼を食べた。

(2) 父がしごとを休んだ。こんなことははじめてだ。

(3) 次の文章の——線部「それ」は、それぞれ何を指していますか。書いて答えましょう。

日本では、きせつのうつりかわりはとてもはつきりしています。わたしたちは、(1)それに合わせて、いろいろなふくを着ます。

夏は、シャツ一まいですませることができます。しかし、冬は、(2)それだけではさむいので、セーターーやコートをかざねて着たりします。

(1)

(2)



◎ 「こそあどことば」を使って、文を読みやすく書きかえるれん習をしてみましょう。

● **問題**

モンドイ

次

シヨウ

文章

エキ

駅

イコ

事

ガラ

使

つか

う

2

説明的文章(1)

クジラも海でおぼれるの?

加藤田子

学習日
月 / 日

学習のめで
○説明文の読み方になれましょ。

読んで書きよつ

ハトやカラスが水たまりの中で、つばさをバタバタとやっているのを見たことがあるでしょう? ①水あびをしているんだよね。

インコやジュウシマツも水あびが好きだよ。つばさをバタバタとやったあと、くちばしで羽を「じごいて」いるよね。羽のよごれをとつて、きれいにしているんだよ。わたしたちがお風呂^{ふろ}にはいるのとおなじだね。

じゃあ、水あびをしない動物^{どうぶつ}は、体がよごれたままで平^へ気^きなのかな?

そんなことないよね。だって、不潔^{ふけつ}にしていたら病氣^{びょうき}になるかもしれないもの。動物^{どうぶつ}はみんな、体を清潔^{せいけつ}にしようと思つているんだよ。ただ、②その方法はいろいろで、お風呂や水あびとはちがうんだよ。

たとえばね。③スズメが砂場^{すなば}にうずくまって、つばさをバタバタとさせているの、見たことないかい?

砂あびをしているんだよ。羽のあいだにサラサラと砂を

□1 線①「水あびをしているんだよね」とあります。水あびをする動物としてあげられているものをすべて書きなさい。

□2 線②「その方法はいろいろ」とあります。何をする方法がいろいろあるのですか。

□3 線③「スズメが砂場にうずくまって、つばさをバタバタとさせているの、見たことないかい?」とあります。スズメはどうするた

通して、体についているよ。これやダニをとっているんだね。

ニワトリやキジも砂あびをするよ。ダチョウも砂あびが好きだよ。

ゾウは水あびも砂あびもするよ。^{はな}鼻で砂を集めてせなかにかけるの。それから、せなかをブルブルとゆすって砂を落とすの。落ちていく砂が、せなかをかいてくれるみたいで、きっと気持ちいいんだろうね。

④ 「泥あび」というのもあるんだぞ。

イノシシやブタは、グチャグチャの泥んこの中でころげまわって、体をドロドロにしてしまうの。ますますよこしているように見えるけど、これがイノシシの清潔法よ。

ドロドロになったあと、お日さまの下で昼寝をしていると、泥が力パカパにかわくんだよ。すると、どこかに体をこすりつけて、泥を落とすの。泥といっしょに、よこれも虫も落ちてくれるという寸法^{すんぱう}さ。泥パックみたいなものかもね。

20

25

30

めに、このような砂あびをするのですか。

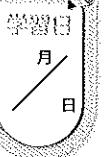
□4 線④ 「『泥あび』とは、どういうものですか。

● 鼻	● 動物	● 平氣	● 病氣
はな	どう	へい	ビヨウ
あつ	めぐら	き	き

● 清潔	● 寸法
せいせき	すんぱう

たくさん意味を持つことば

ことばについて学ぼう



- 問題**でかくにんしてみましょう。
- 次の(1)～(3)の組の()に共通して入ることばを、それがあとからえらび、その記号を書きましょう。

- (1) たおれたかんばんを起こす。
 (2) ねている友だちを起こす。
 (3) さわぎを起こす。

(1)～(3)の——線部「起こす」には、それぞれどんな意味があるでしょうか。

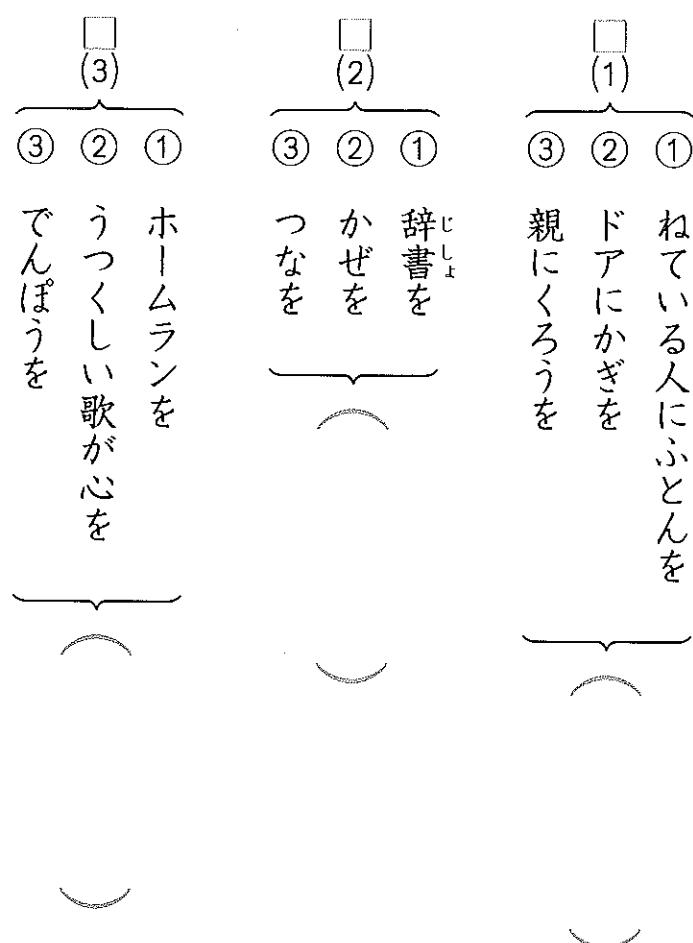
(1)には「よこになつているものを立てる」、(2)には「目をさまさせる」、(3)には「生じさせる」という意味があります。このように「起こす」にはたくさん意味があつて、いろいろな場面で使い分けられています。

一語でたくさん意味を持つことばには、ほかにどんなものがあるかをさがし、ノートにまとめたり、みじかい文を作つたりしてみましよう。

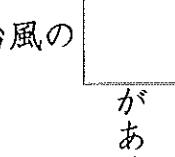
ア うつ

イ かける

ウ 引く



② にならって、次の(1)～(3)の□に漢字一字を入
れて、二つのことばを作りましょう。

- (1) 人を見る 
し、ことの手が足りない
をぬく
- (2) のこぎりの 
をくいしばる
- (3) 台風の 
がある
- (4) パンの 
が遠い

③ 次の(1)～(4)の一線部「やぶる」の意味としてもつ
ともふさわしいものをそれぞれあとからえらび、その
記号を書きましょう。

- (1) やくそくをやぶる。

- (2) ノートをやぶる。

- (3) てきのチームをやぶる。

- (4) せかい記ろくをやぶる。


ア 紙やぬのなどをやく。
ウ だめにする。

イ 記ろくをぬりかえる。
エ 負かす。



◎ それぞれのことばが、文の中でどのような
意味を持っているかを考えて、問題をとくよ
うにしましょう。

• 意味	イミ
• 起こす	おこす
• 場面	ムジ
• 記号	ゴウ
• 負かす	カス

3 物語 (2)

里の春、山の春

新美南吉

学習日
月 / 日

学習のめあて

○様子を思いうかべながら読みましょう。

読んで考えてよう

「お父ちゃん、春ってどんなもの」

「春には花がさくのさ」

「お母ちゃん、花ってどんなもの」

「花ってね、きれいなものよ」

「ふうん」

けれど、① ぼうやのしかは、花をみたことないので、
花とはどんなものだか、春とはどんなものだか、よくわから
りませんでした。

ある日、ぼうやのしかはひとりで山のなかを遊んで歩き
まわりました。

すると、とおくのぼうから、「ぼオん」とやわらかな音
が聞こえきました。

「なんの音だろう」

するとまた、「ぼオん」

② ぼうやのしかは、ぴんと耳をたててきいていました。

やがて、その音にさそわれて、どんどん山をおりてゆきました。

□ 1 線① 「ぼうやのしかは、花をみたことも

ないので、花とはどんなものだか、春とはどん
なものだか、よくわかりませんでした」とあり
ますが、子じかが、花も春も知らないのはなぜ
だと思われますか。

□ 2 線② 「ぼうやのしかは、ぴんと耳をたて
てきいていました」とありますか、

(1) 子じかが聞いていたのは、何の音でしたか。

(2) 子じかはその音を聞いて、どんな気持ちに
なったと思われますか。

した。

山の下には野原がひろがっていました。野原にはさくらの花がさいていて、よいかおりがしていました。

いっぱいのさくらの木の根かたに、やさしいおじいさんは、さくらをひとがいました。子じかを見るとおじいさんは、さくらをひとえだ折つて、その小さい角にむすびつけてやりました。

「さあ、かんざしをあげたから、日のくれないうちに山へおかえり」

子じかはよろこんで山にかえりました。

③ ぼうやのしかからはなしをきくと、お父さんじかとお母さんじかは口(口をそろえる)をそろえて、

「ぼうん」という音はお寺のかねだよ」

「おまえの角についているのが花だよ」

「その花がいっぱいさいていて、きもちのよいにおいのして いたところが、春だったのさ」とおしえてやりました。

それからしばらくすると、山のおくへも春がやってきて、いろいろな花はさきはじめました。

● 様 子 ゆう
● 遊 ぶ あそ
● 根 ね

20

25

30

□ (3) (2)の気持ちは、子じかのどんな行動からわかるりますか。

□ [3] 線③「ぼうやのしかからはなしをきくと」とあります。子じかは両親にどんな話をしたのですか。

● どんどん
● 口をそろえる

漢字の音と訓

学習日
月 / 日

問題でかくにんしてみましょう。
次の(1)～(5)の文の——線部の読みを、それぞれひらがなで書きましょう。

漢字には、音読みと訓読みという二しゆるいの読み方があります。

たとえば「犬」には「けん」という音読みと、「いぬ」という訓読みがあります。たいていの場合、日本語として意味がわかりやすい方が訓読みです。どちらの読み方をするかは、ことばによつて決まっていきます。「番犬」のような場合は音読み、「子犬」のような場合は訓読みです。

漢字によつては、音読みと訓読みのどちらか一方しかないものや、いくつもの音読みや訓読みを持つものがあります。また、たとえば、「階」にはどちらも「かい」という読みしかありませんが、「階」の場合は音読み、「貝」の場合は訓読みです。

- | | | | | | |
|--|----------|--|----------|--|--|
| □
(5) | □
(4) | □
(3) | □
(2) | □
(1) | |
| (3) (2) (1) | | (2) (1) | | (2) (1) | |
| 木かげで休息する。
大きく息をすう。 | | 木が根をのばす。 | | 根気のいるしぐこと。
木が根をのばす。 | |
| 住んでいる所を教える。 | | 住んでいる所を教える。 | | 公園にふん水ができる。
つめたい水をのむ。 | |

[2] 次の(1)～(6)の説明にあてはまる漢字一字を考えて、それぞれ書いて答えましょう。

□(1) 「そう」という音読みと、「くせ」という訓読みを持つ漢字。

□(2) 「か」という音読みと、「なつ」という訓読みを持つ漢字。

□(3) 「ぶつ」「もつ」という音読みと、「もの」という訓読みを持つ漢字。

□(4) 「か」「け」という音読みと、「いえ」「や」という訓読みを持つ漢字。

□(5) 「にく」という音読みだけを持つ漢字。

□(6) 「はた」「はたけ」という訓読みだけを持つ漢字。

[3] 次の(1)～(3)の組のことばの読みには、音読みと訓読みの二しゆるいがあります。それぞれひらがなで書いて答えましょう。

□(1) 風車

□(2) 草原

□(3) 色紙



（）（）（）

（）（）（）

（）（）（）

◎今までに習った漢字にはいくつの読みがあるか、まだどの読みがどんな場合に用いられているかをしらべてみましょう。



・階

カイ

・住

ジュウ

所

ヨ

定

テイ

息	鐵	路	持	習	物
10画 いき ソク	13画 テツ 金 足 あしへん	13画 じ ロ 口	9画 じ 手 てへん	11画 ジ 羽 はね	8画 モツ 牛 うしへん
息 息 息 息 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	鐵 鐵 鐵 鐵 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	路 路 路 路 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	持 持 持 持 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	習 習 習 習 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	物 物 物 物 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
章	次	部	漢	向	開
11画 ショウ 立 たつ	6画 ツジ 久 あくび	11画 ブ 水 さんずい	6画 コウ 口 くち	12画 カイ 門 もんがまえ	12画 カイ 門 もんがまえ
章 章 章 章 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	次 次 次 次 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	部 部 部 部 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	漢 漢 漢 漢 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	向 向 向 向 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	開 開 開 開 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
動	着	題	問	使	事
11画 ドウ 力 ちから	12画 チャク 羊 ひつじ	18画 ダイ 頁 おおがい	11画 モン 口 くち	8画 ジ 人 にんべん	8画 ジョ J はねぼう
動 動 動 動 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	着 着 着 着 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	題 題 題 題 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	問 問 問 問 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	使 使 使 使 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	事 事 事 事 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
駅					
14画 エキ 馬 うまへん					
駅 駅 駅 駅 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16					

新出漢字のまとめ①

本書8ページから19ページに
出てきた漢字をおさらいしましよう。



